

令和6年6月定例会 概要 (会期 6月13日～7月3日)

令和6年6月定例会県議会では、県立大学の設置関連、武雄アジア大学(仮称)への支援関連、県庁組織運営、佐賀空港の自衛隊使用要請関連、九州新幹線西九州ルート関連、玄海原子力発電所関連など県政全般にわたる幅広い議論が展開されました。

令和6年度補正予算案については、提出された3件の補正予算案が原案のとおり可決されました。

○令和6年度補正予算関係

- ・令和6年度一般会計補正予算(追加後総額約5,239億7,400万円、対前年同期比1.5%減)
- ・土地取得特別会計補正予算 など計3件

令和6年6月定例会で条例などが次のとおり可決されました

■ 条例 (5件可決)

○佐賀県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例

【内容】 不当な客引き行為等について、規制する業種や行為を拡大した。

【施行日】 令和6年9月1日

○佐賀県立21世紀県民の森設置条例の一部を改正する条例

【内容】 佐賀県立21世紀県民の森の名称を「レイクサイド北山」に改称し、設置目的等を改めた。

【施行日】 令和6年7月4日(公布日)

※一部規定は令和7年4月1日より施行

他3件

■ 意見書 (5件可決)

○再審に関する法改正を求める意見書

○地方財政の充実・強化に関する意見書

○ゆたかな学びの実現のため、引き続き教職員定数改善をはかることを求める意見書

他2件

その他の条例等は[こちら](#)➡

令和6年6月定例会
議案採決結果一覧表(PDF)



主な内容	・令和6年6月定例会の概要、可決された条例・意見書など	1
	・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨	2～5
	・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など	6～7
	・その他の議会活動など	8

「佐賀県議会映像配信」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会 検索



議案に対する議員の表决態度(賛否)は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)



質問議員 ※質問順

一般質問

6月19日(水)

- 猪村利恵子 (自由民主党)
- 徳光 清孝 (県民ネットワーク)
- 武藤 明美 (日本共産党)
- 藤木卓一郎 (自由民主党)
- 野田 勝人 (県民ネットワーク)

6月20日(木)

- 西久保弘克 (自由民主党)
- 下田 寛 (県民ネットワーク)
- 古賀 和浩 (自由民主党)
- 田中 秀和 (自由民主党)
- 青木 一功 (自由民主党)

6月21日(金)

- 中本 正一 (公明党)
- 一ノ瀬裕子 (自由民主党)
- 桃崎 祐介 (自由民主党)
- 古川 裕紀 (自由民主党)
- 岡口 重文 (自由民主党)



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」で確認できます。



政策・総務

沖縄県先島諸島からの避難住民の受入れについて

問 6月3日に開催された九州地方知事会において、国が武力攻撃予測事態を認定した際に、沖縄県先島諸島5市町村の住民約12万人の避難先として九州・山口を考えていることや、避難元の5市町村とそれぞれの避難先となる県の家が示され、九州各県は国の取組みに協力していくことになったと聞いている。

九州知事会での協力要請を受けて知事の見解を伺いたい。



答 今回の要請については、自国民の避難に関わることもあり、特に沖縄県からの住民避難に係ることであるため、九州・山口全体で協力していきたいと思う。

佐賀県は、与那国町の住民の避難先となることが示されたところであり、避難計画については単なる机上の計画ではなく、平時から交流して互いの関係性を築き、避難のハードルを下げる

など、いざというときに安心して本県に避難していただけるよう取り組んでいきたいと思う。

また、国には、国際情勢が緊迫化する中、朝鮮半島有事への備え、自国民だけではなく、朝鮮半島から北部九州へ多くの避難民が流入することを想定した対応についても検討を進めてほしいと考えている。

国際情勢は厳しさを増しており、国は様々な事態を想定してしっかりと議論を重ね、万が一の際への備えを進めてもらいたい。

県立大学の入試制度について



問 県が公表した県立大学の教育方針の基本的な考え方をイントとして、「佐賀の未来をつくる人材を育成する大学を目指す」ということがあげられていた。佐賀のために自分が、という熱い思いを持つ学生に入学してもらいたいと思うが、県は入試制度について、現時点ではどのように考えているのか。



答 大学全体の熱量に結びつくことから、県立大学で学びたいという熱量が高い学生が多く入学することとは大切なことである。

また、普通科のみならず、実業系の専門学科などに通学する向学心が高い生徒の入学機会を広げ、学生そのもののダイバーシティ(多様性)を確保することは、学びの質を上げるうえでも重要である。

大学入試は、一回のペーパーテストで可否を判定するのが主流であるが、最近では人物を見る総合型選抜や指定校推薦が増加し、大学によっては一般入試と選抜、推薦が半々のところもある。

県立大学の入試では、総合型選抜や指定校推薦を可能な限り活用したいと考えており、一つの方法として、県内の全ての高校に指定校推薦枠を設け、高校の探究学習で評価の高い生徒の推薦を求めることなどを検討している。具体的な制度設計に向けて、他の大学の事例を調べるとともに、県内の教育関係者とも意見交換を始めているところである。



武雄アジア大学(仮称)への支援について



現在、学校法人旭学園と武雄市において、新たな4年制大学である武雄アジア大学の令和8年4月開校に向けた準備が進められている。

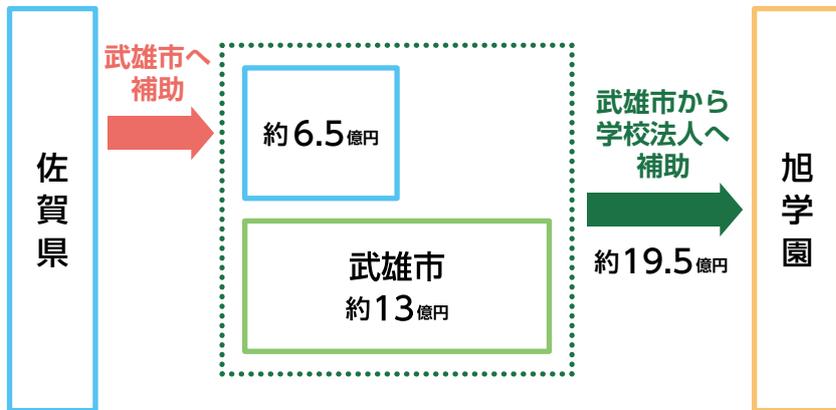
同大学は、「国際的な視野を持ち、地域及び広域に寄与できる人材」や「地域の産業と発展に貢献できる人材」の育成を目指しており、武雄市は、若年層人口の減少などの課題解決や、地域振興、産業振興につなげたいとしている。

今回、県は同大学設置に対する支援案を発表したが、支援を行う理由と支援内容について伺いたい。



佐賀県では子供の割合が全国3位と多いにもかかわらず、毎年、大学進学時に3千人近くの学生が県外に進学している状況であり、その大きな要因の一つが、県内の大学の数が47都道府県で最少の2つしかないという圧倒的な大学の不足であると考えられている。武雄アジア大学が開学すれば、県内の学びの選択肢が増え、高等教育機関の充実につながることから、県はこの取組みを支援したいと考えている。

【「武雄アジア大学(仮称)」への支援スキーム】



支援内容としては、武雄市が旭学園への支援として負担する約13億円の2分の1に当たる約6.5億円を市に對して補助したい。

また、開学後は、県内大学が持つノウハウを社会に実装していく「TSU NAG」プロジェクトの実施や、県立大学との教育面での連携も考えている。

地域交流



九州新幹線西九州ルートについて「幅広い協議」について



5月13日に、山口知事、長崎県の長知事、JR九州の古宮社長の3者による意見交換が行われた。その際、国を交えた4者で協議すべきとの提案があったようだが、知事はこれを拒否したと聞いている。

4者協議がどうしてもだめだといのであれば、国との「幅広い協議」を冒頭公開、会議の内容は非公開で、その後、記者会見で内容を報告する形で進め、本当の実務的な協議となるように改編していただきたいと思うが、どうか。



西九州ルートは長崎県からの提案を受け、福岡市から武雄市までは在来線利用という内容で平成4年に地元で合意した。しかし、国がフリーゲージトレインを断念したことで今の状況となった。佐賀県区間の新鳥栖ー武雄温泉間について、長崎県が合意と異なるものを望むのであれば、原



点に立ち戻り、地元で新たな合意形成が図られるのが本来の議論の在り方である。国を入れた4者で協議をするのは筋が違つのではないだろうか。国が佐賀県と話し合いたいならば、「幅広い協議」で議論させていただきたいと思う。「幅広い協議」はオープンで行っており、非公開で自由に議論してはどうかということなので、「1回やりましょうか」と国に申しみたい。

eスポーツについて

問 eスポーツはスポーツ分野だけでなく、観光や若者文化への広がりのほか、福祉や介護、教育、地域振興など県政の発展に大きく寄与することができると考えている。

12月には、SAGAアリーナで舞台に「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2024 SAGA」が開催される予定となっているなどeスポーツを活用する取組みが始まっているが、知事のeスポーツに対する想いや、eスポーツへの支援や振興について伺いたい。

答 eスポーツは、性別、年齢、身体能力、様々な違いを超えて多くの方が楽しみ交流できるツールで、世代に応じて様々な活用が始まっている。また、IOC(国際オリンピック委員会)もeスポーツオリンピックの創設を検討しているなど、世界的なコンテンツとしてeスポーツの社会的認知度や評価が高まっている。

eスポーツはまだまだ成長途中であり、様々な可能性を秘めている。SAGAアリーナというハードと相ま

て、eスポーツが生かされた様々なチャレンジが広がり、その波及効果が佐賀に浸透していくといった流れをつくり出したい。そして、佐賀県をeスポーツの聖地にしたいと考えている。

そのために、eスポーツの持つ人づくり、地域づくりにつながる多面的な有用性や多くの可能性に着目して、県としても引き続きしっかりと取り組んでいきたい。



※eスポーツ
「エレクトロニックスポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称



全国都道府県対抗
eスポーツ選手権
2024 SAGA

2024 12/14 土 15 日

会場：SAGAアリーナ

「IdentityV 第五人格」、「Football™」シリーズ、「パズドラ」、「ぶよぶよeスポーツ」

主催：全国都道府県対抗eスポーツ選手権2024 SAGA 実行委員会
(株式会社佐賀新聞社、一般社団法人日本eスポーツ連合、一般社団法人佐賀県eスポーツ協会、株式会社共同通信デジタル)

県民環境



原子力発電に係る高レベル放射性廃棄物の最終処分場について

問 高レベル放射性廃棄物に係る最終処分の選定に向けて、玄海町で文献調査が開始された。仮に適地と判断された場合は次の概要調査に進むことになるが、その際に当該市町村長や都道府県知事の意見を聞くこととなっている。経済産業大臣の記者会見では、知事や市町村長が反対をすれば、最終処分場の選定プロセスから外れることになるかと述べているが、改めて現時点での、概要調査に係る知事の考えについて伺いたい。

答 最終処分場は10年以上の未来に向けて管理するものであり、原子力発電所とは全く別のものであると考えている。県として新たな負担を受け入れる考えはない。最終処分場は国全体としては必要なものであるが、県はエネルギー政策に十分貢献していると考えている。

選定のプロセスで必要な要素は国民

が関心を持って議論することだと認識しており、特に電力消費地である都市部の皆さんが使っている電気がどこでつくられてどこから来ているのか、自分ごととして関心を持ってもらうことが大切だと考えている。

どこに立地するのも含めて国全体で考えるべきであるということもこれから求めていきたい。

農林水産



野生イノシシの豚熱に対する対策について

問 6月6日、唐津市で九州初となる野生イノシシの豚熱感染が確認された。これをくい止めるためには早急な感染の拡大防止対策が必要であると考えている。県では、今回の豚熱発生後、野生イノシシの豚熱感染拡大を防ぐため、どのような対策を実施してきたのか、また、今後どのように取り組んでいくのか。



▲ワクチン散布の様子
(唐津市)

答

豚熱の陽性が確認された6月6日以降、県内全ての養豚農家に対し発生事例についての情報提供を行うとともに、同日中に飼育している豚に異常がないことを確認した。イノシシに対しては豚熱感染の監視を強化するため、検査の頻度を増やすとともに、豚熱ウィルスの拡散防止のため、イノシシ捕獲時の消毒徹底の周知や、豚熱が確認された周辺で捕獲したイノシシ肉の市場流通の自粛要請などを行った。

また、国から経口ワクチン散布推奨地域の指定を受け、感染したイノシシが発見された場所から半径10キロメートル圏内において6月13、14日の2日間にわたり経口ワクチンの緊急散布を行ったところである。

今後とも県内の全養豚農場における防疫対応の強化はもとより、イノシシへの感染状況の監視強化を行い、豚熱感染拡大の防止に努めていく。

教育



**特別支援学校における
看護師不足について**

問

佐賀県医療的ケア児者家族会が県内特別支援学校における医療的ケアに関する実態調査を実施したところ、法的な定数はないものの、看護師を補充できず、学校から保護者に付添いが要請され、それが原因で児童が学校を休むことも常態化しており、保護者ケア前提の医療的ケアになっているとの報告だった。また、看護師へのケア移行完了に時間がかかっていることも保護者の負担が増している要因である。

そこで、速やかに看護師不足を解消しなければならぬと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

答

本県では平成15年度から特別支援学校に看護師を配置しており、医療的ケアが必要な児童生徒の多くが学校に通学して学んでいる。看護師の数は年々増やしており、きめ細かな医療的ケアを安定的に提供していく

ため、さらに採用を進めていく考えである。

現状として一つの学校でケアの引継ぎ以外の保護者の付添いをお願いしている状況があり、保護者が付添いできない場合に児童生徒が学校を休まざるを得ないことが生じていることは厳しく認識している。

看護師の確保に向けて、勤務環境の魅力も伝えながら求人活動に努めるとともに、ケア移行完了に時間を要しているケースについて新たに配置したアドバイザー（看護師）による分析を行い、運用面の工夫について関係者と話し合っていきたいと考えている。

この他、県政全般について幅広い議論が行われました。

【主な質問項目】

- ・佐賀空港へのオスプレイ等の配備について
- ・くらしを支える地域公共交通の問題について
- ・高等教育機関との連携について
- ・洋上風力発電事業について
- ・園芸農業の振興について など



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」で確認してください。

佐賀県議会会議録

平成11年以降の会議録を検索できます



インターネット中継

本会議（委員会）の様子をリアルタイムで視聴できます（開会中のみ）



録画放送

インターネット中継の日から4営業日後を目途に公開しています（土日祝除く）

令和元年以降の映像を公開しています!





総務常任委員会

付託議案 5 件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 佐賀県立21世紀県民の森設置条例の一部改正
- 佐賀県迷惑行為防止条例の一部改正

【主な質疑事項】

- 県立大学について
- 武雄アジア大学（仮称）への支援について
- 佐賀空港の自衛隊使用要請への対応について など

【現地視察の様子】



日本レスキュー協会佐賀県支部大町拠点「MORE WAN」大町町災害支援拠点「soleil」（災害支援拠点施設の整備・運営状況について）

文教厚生常任委員会

付託議案 3 件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 国民健康保険法施行条例の一部改正
- 請負契約について

【主な質疑事項】

- こども誰でも通園制度について
- 重度心身障害者医療費助成について
- 鳥栖特別支援学校について
- 教育委員会の在り方について など

【現地視察の様子】



佐賀県立彩志学舎中学校（県立夜間中学の状況について）

農林水産商工常任委員会

付託議案 3 件が原案可決されました。

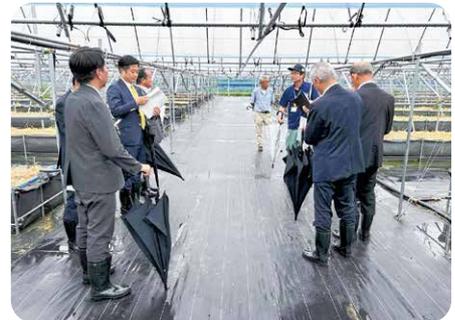
【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 佐賀県産業用地造成事業特別会計（補正）予算
- 国営土地改良事業に対する市町の負担について

【主な質疑事項】

- ノリ養殖の安定生産に向けた取組みについて
- 食料・農業・農村政策の在り方について
- ものづくり産業の振興について など

【現地視察の様子】



園芸888県営法人経営農地整備事業と株式会社大地（法人のニーズに合わせた基盤整備について）

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案 3 件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 土地取得特別会計（補正）予算
- 請負契約について

【主な質疑事項】

- 江藤新平復権プロジェクトについて
- SAGA2024国スポ・全障スポについて
- 九州新幹線西九州ルートについて など

【現地視察の様子】



唐津市立高島小学校（島留学の取組みについて）

特別委員会
佐賀空港・有明海問題対策等

7月1日（月）に委員会を開催し、「有明水産振興センター」や「九州佐賀国際空港展望デッキ」等の視察を行い、それぞれ有明海再生の取組み状況、駐屯地整備工事の状況についての説明を受け、質疑を行いました。

【現地視察の様子】



有明水産振興センター
(有明海再生の取組み状況について)



九州佐賀国際空港展望デッキ
(駐屯地整備工事の状況について)

特別委員会
高等教育機関問題対策等

7月1日（月）に委員会を開催し、「学校法人永原学園」及び「学校法人旭学園」の視察を行い、それぞれ西九州大学の状況等、学校法人旭学園の状況等及び設置を予定している武雄アジア大学（仮称）についての説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

【現地視察の様子】



学校法人永原学園西九州大学佐賀キャンパス
(西九州大学の概要等について)



学校法人旭学園
(武雄アジア大学（仮称）の概要等について)

佐賀県をもっと知るため
議会を傍聴しよう!



みなさまの傍聴を
お待ちしております!

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会はどなたでも傍聴できます。
また、車椅子利用者、介助者各5名分用のスペース、音声自動認識技術による字幕表示モニターもあります。

受付開始 午前9時頃
受付場所 議会棟1階

※車でお越しの方は、県庁来訪者
駐車場をご利用ください。

傍聴中の託児もできます!

傍聴希望日の1週間前までに
議会事務局までお申し込みください。

対象 生後6カ月～小学校就学前
問合せ 0952-25-7215（議会事務局 総務課）



登壇者以外の様子や議場の雰囲気など、
中継にはない臨場感で傍聴できます



インターネットでも
本会議、各委員会の様子を
リアルタイムで視聴できます。



議会棟の見学に来られました!!

～唐津市立 長松小学校 4年生のみなさん～



ありがとうございました!

議会棟を見学しませんか?

見学者大募集中!!

本会議等の行事がない日は、議会棟の見学ができます。※事前予約制

本会議場や傍聴席等をご案内し、議会の仕組みや施設の概要について学ぶことができます。

ぜひ、社会見学や勉強会等にご利用ください!

見学時間 月～金 / 午前9時～午後5時 (祝日、年末年始を除く)

所要時間 約30分 **問合せ** 0952-25-7215 (議会事務局 総務課)

本会議は字幕でも傍聴できます!

本会議の傍聴を支援するために、議場での発言をリアルタイムで文字化し、傍聴席の液晶ディスプレイに表示する運用を行っています。

※音声自動認識技術を用いているため、一部正確に表示されない場合がございます。

そのほか、補聴器の貸し出しも行っております。



YouTubeで議会中継を配信しています!

YouTubeの佐賀県議会公式チャンネルでは、本会議、各常任・特別委員会のライブ配信を行っています。また、YouTubeでのサービス機能で字幕付きでも会議をご覧いただけます。

(字幕の表示 … 動画内の歯車マーク ⇒ 字幕)

※字幕は後日閲覧可能です。また、自動文字起こしで作成されているため、正確な字幕が表示されない場合があります。

公式チャンネルはこちら▶



佐賀県議会事務局政務調査課
〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番45号

TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279
E-mail gikai@pref.saga.lg.jp
ホームページ https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/

お読みになった
ご感想やご意見を
お寄せください

「さが県議会だより」
の次号は、12月1日発行です。

UD
FONT

風やまい
ユニバーサルデザインソフト
を採用しています。